日刊 動労千葉

86. 8. 4

No. 2310

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕

一点のイスクラ

千葉県下第4弾（全国上映第17弾）大成功！いま全国へ

七月二十六日、全国上映第十七弾として君津教育会館において開催された木更津地区上映会は、反動中曽根体制による臨調・行革路線と真向から対決し、とりわけ国鉄分割・民営化阻止へむけ日常的活動を展開している社会党総支部、そして国労・全農林・日東交通などの地区労に結集する労働者・地域住民の方々・家族一一七名の参加のもと大成功をおさめました。

社会党・国労から連帯の挨拶

君津教育会館三階ホールは、上映開始前すでに百名をこえる参加者で埋まり会場係が新たにイス席を用意するなど場内は熱気と興奮のるつぼと化した。

上映会は、木更津支部組合員・外山氏の司会ではじまり、あいさつにたった社会党・木更津総支部の高野氏が松竹争議時の経緯を例にあげ、労働者として最大の武器であるストライキ権を行使することは当然の権利であり、必ず大衆に指示されることを明らかにし、続いてあいさつにたった国労の闘う仲間は「動労千葉と国労の真の共闘こそ分割・民営化を阻止していく道である」と全参加者に呼びかけた。来賓あいさつのあと、動労千葉・山口副委員長が上映会への御礼を述べるとともに国鉄法案をめぐる国会闘争―「六一・一一ダイ改」―「六二・四分割民営」阻止へむけた全国潮流への陣形が各地で胎動を開始しつつあると報告・決意を明らかにした。

映画の終章は「たたかいの勝利の日」

上映終了後、この記録映画には「追加報告」と出されたように、ピリオドがないこと。それは記録映画の終章が「分割・民営化」攻撃に国鉄労働者が勝利した〝その日〟が終章であると司会者より明らかにされると、さらなる拍手・共感がまきおこった。

続いて、動労千葉の被処分者を代表し特別執行委員・内山氏は、上映会・物販の第三波と位置づけた闘いが確実に前進していることを訴え、不当処分を粉砕し闘いぬく決意を明らかにした。

最後に、当該支部である木更津支部・斉藤支部長が「上映会の成功をバネに『六一・一一ダイ改』阻止へむけ支部総体が火の玉となって決起する」との決意を明らかにして成功のうちに終了した。

支部・青年部が訴え歩いた成果だ

七月上旬から地区労各単組、支部、分会に対して木更津支部組合員、とりわけ青年部が動労千葉のたたかいへの理解と支援を訴え歩いた成果は、上映会の成功とともに上映終了後、感動した全農林の方をはじめとした数多くの方々のカンパにはっきりと示されている。

まさにわれわれのたたかいは、イスクラとなって全国へ日々拡大している。自信と確信をもって夏～秋決戦へ突き進もう。

（寄稿・木更津支部T生）

木更津

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！